

2018 山梨県レッドデータブック 訂正および追加

平成30年7月30日

写真ページ 訂正

ハッチョウトンボ キャプション 1937.7.1 1937.7.
種名 クサノオオバナノギク クサノオウバナノギク

本文 訂正

- P.27 オノエラン 形態 Y字状 W字形
- P.49 スルガヒョウタンボク 分布図 32 (2015~2017 出現) 削除
- P.72 キタダケソウ 特記事項 種の保存法指定種を追加
- P.78 ヨコグラノキ 分布図 39 (2005 出現) 39 (両方の調査で出現)
- P.110 ハシドイ 分布図 21 (2015~2017 出現) 削除
- P.140 オヒキコウモリ 生息環境4行目 および福岡県 削除
- P.142 テングコウモリ 生息環境3行目 (佐藤ほか 2012b) (佐藤ほか 2012a)
- P.143 ヤマネ 生息状況及び危機要因2行目
1999年、山梨県学術文化財課により 山梨県学術文化財課 (1999) により
- P.143 ヤマネ 生息状況及び危機要因7行目 (湊 2017) (湊 2018)
- P.143 ヤマネ 特記事項3行目 (湊 2017) (湊 2018)
- P.153 引用文献 饗場葉留果・～.2016.～ P156 参考文献へ移動.
- P.154 引用文献追加 湊秋作 2018 ニホンヤマネ - 野生動物の保全と環境教育. 東京大学出版会.
- P.156 参考文献 (環境省 2012) P153 引用文献へ移動.

P.208 追加

6 その他

種の解説に記述について

地名：地名としては、おおよその分布がつかみやすいように、旧町村名を優先的に使用した。ただし、その種を保護する観点から詳しい地名を挙げなかった種もある。

学名・和名：学名や和名は、環境省レッドリスト2017

(<http://www.env.go.jp/press/files/jp/105449.pdf>) に掲載されている種は、これによった。掲載されていない種については、日本のレッドデータ検索システム

(<http://jpnrd.com/>)、及び、環境庁編 (1995) 「日本産野生生物目録無脊椎動物編」を基にした九州大学昆虫類データベース、さらには、近刊の図鑑類 (下記) で確認し、変更されているものはこれらによった。亜種の取扱や亜種名も同様とした。

山梨県版レッドデータブック昆虫類監修

東洋大学名誉教授 大野正男 (全般) 日本蛾類学会会長 岸田泰則 (チョウ目ガ類)

P.211 オオウラギンヒョウモン 分布 4行目

絶滅してまった 絶滅してしまった

P.211 タカネキマダラセセリ 分布 2行目

北沢峠までを含む北岳大樺沢 北沢峠までを含む野呂川林道と北岳大樺沢

P.240 クロゲンゴロウ 生息環境 1行目

1 1 記録された 1 1 が記録された

P.240 クロゲンゴロウ 生息環境 3行目 得られていない 得られていない

P.250 モートナイトトンボ 生息状況 5行目 出来ていのだが 出来ているのだが

P.262 昆虫類参考文献一覧 昆虫類引用・参考文献一覧

P.262 追加

引用文献一覧(各種の解説の順)

北原正彦(1988)ヒョウモンモドキ成虫の行動観察(). 蝶研フィールド 27: 6-19.

蛭川憲男(1985)日本の昆虫 クロシジミ. 文一総合出版. 東京

清邦彦(1983)静岡県および山梨県における河川敷・堤防・海岸の蝶覚え書(1).

駿河の昆虫 120: 3503-3530.

渡邊通人(2011)絶滅危惧種ミヤマシジミの保全. 昆虫と自然 46(9): 22-26.

宮下泰典(1986)山梨県内のヒメシジミについて. 山梨の昆虫 No.26: 641-646.

渡辺通人・宮下泰典(2006)アサマシジミの新食草オオバクサフジ. 日本鱗翅学会誌
(蝶と蛾) 57(2): 123-126.

岸田泰則(2008)ヒトリガ雑記帳(2) 関東周辺の *Aloa lactinea* (Cramer)
マエアカヒトリの記録. 蛾類通信 250: 446-447.

岩田一彦(1970)ウスクモヨトウ本州(山梨県)に産す 蛾類通信 63: 48.

矢野高広・堀江清史(2009)国内におけるベニモンマダラの生息と現状. 日本産チョウ類
の衰亡と保護. 第6集: 75-82. 日本鱗翅学会.

川辺湛・鈴木欽三(1972)八ヶ岳山麓 清里高原の昆虫相(1).
潤徳女子高等学校 : 21.

佐藤力夫(2011)シャクガ科 エダシャク亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準
図鑑 : 186.

矢野高広・岸田泰則(2011)スズメガガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑
: 328-329.

矢野高広・岸田泰則(2011)スズメガガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑
: 336.

小林秀紀(2011)シャチホコガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 119.

岸田泰則(2011)ドクガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 139.

石塚勝己(2011)ヤガ科 *Catocala* 属 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 :
245.

- 石塚勝己(2011)ヤガ科 *Catocala* 属 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 247-248.
- 枝恵太郎・四方圭一郎(2011)ヤガ科キリガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 345.
- 岸田泰則(1981)ミチノクキリガを山梨県明野村で採集. 蛾類通信 118:291.
- 川辺湛・鈴木欽三(1972)八ヶ岳山麓 清里高原の昆虫相(1). 潤徳女子高等学校 : 22.
- 杉 繁郎(1971)ムラサキウスモンヤガ山梨県に産す. 蛾類通信 66: 84.
- 岸田泰則(2011)ヒトリガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 167.
- 堀江清史(2013)マダラガ科 広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 328.
- 岸田泰則・川島保夫(1984)山梨県明野村でタケウチエダシャク採集 蛾類通信 125;405.
- 矢野高広・岸田泰則(2011)スズメガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 336-337.
- 小林秀紀(2011)シャチホコガ科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 138.
- 枝恵太郎・柳田慶浩(2011)ヤガ科 ケンモンヤガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 300.
- 四方圭一郎(2011)ヤガ科セダカモクメ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 305.
- 枝恵太郎・四方圭一郎(2011)ヤガ科キリガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 359.
- 吉松慎一(2011)ヤガ科 ヨトウガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 375-376.
- 川辺湛・鈴木欽三(1972)八ヶ岳山麓 清里高原の昆虫相(1). 潤徳女子高等学校 : 22.
- 小林秀紀(2011)ヤガ科 モンヤガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 385.
- 小林秀紀(2011)ヤガ科 モンヤガ亜科 岸田泰則(編) 日本産蛾類標準図鑑 : 391.
- 四方圭一郎(2016)長野県における草原性蛾類の現状. 日本産チョウ類の衰亡と保護. 第7集: 47 - 51. 日本鱗翅学会.
- 大野正男(2000)日本産主要動物の種別知見総覧(54) カワラハンミョウ(1). 東洋大学 紀要教養課程篇(自然科学)第44号: 163-201.
- 甲州昆虫同好会(1998)すばらしき山梨の虫たち. 山梨日日新聞社.
- 宮武頼夫監修・橋爪秀博著(1994)タガメのすべて - 水生動物との共生を願って - .

トンボ出版 .

鈴木智也・谷澤崇・東城幸治 (2014) 東アジア産コオイムシ類における進化生物学的研究 . 昆虫と自然 49 (2) : 9-14 .

渡辺通人 (2016) 環境省準絶滅危惧フジシガバチの巣閉鎖行動の観察 . 山梨の昆虫 No.56 : 1-7 .

日本直翅類学会 (編) (2016) 日本産直翅類標準図鑑 . 学研 .

酒井孝明 (2017) 新潟県におけるアカハネバットの再発見 . 月刊むし No.558 : 30-31 .

村井貴史・伊藤ふくお (2011) バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑 . 北海道大学出版会 .

石川均 (2007) コバネヒナバットの謎 (富士山にもいた高山性ヒナバット) .

ぱったりぎす No.140 : 39-49 .

三枝豊平 (2014) ヒメケツメカ . 環境省レッドデータブック 2014 : 145 . 環境省 .

三枝豊平 (2014) タカネキアシナガレアシナガバエ . 環境省レッドデータブック 2014 : 423 . 環境省 .